

# トンガ (Tonga) 王国国民の憂い (首相が中国に国を乗っ取られると発言)

(第1回) 関東支部 浦野勝雄



トンガタプのラグーンから登る太陽 ラグーンロッジより

日本人はタヒチ、フィジー、トンガなど南太平洋の島国を楽園と考えている人が多いと思います。大きな体で悠然とした所作や歩き方、体つき、天候、ハイビスカスなどを想像し常夏の楽園だと私も思っていました。

その楽園のポヒヴァ首相が2017年5月「このままでは中国に国を乗っ取られる」と悲痛な叫び声を上げたと報道されました。記憶されている方も多いと思いますが、どうなるかと気にしていたら同年9月11日、今度はニュージーランド オークランドの病院で肺炎のため死去したことが報じられました。トンガの民主化に貢献した彼は志半ばで無念であったろうと思います。首相は未来形で言っていますが、現在進行形だと感じています。

02 [太平洋波高し] *The Asahi Shimbun* GLOBE 地球 第11期目発行 第23号増刊号発行 発行日 8月 August 2017 No.196

世界の海の半分近くを占める太平洋。欧米の列強や日本が支配し、争う舞台となってきたこの海に、中国という新たなプレーヤーが加わった。既存のプレーヤーたちは軍事、経済両面での中国の進出を警戒し、再び太平洋に目を向けている。そして、大国の狭間でたたかき、立ち上がろうとする島々。波が高まる太平洋の最前線で、何が起きているのか――。

[トンガ] 乗っ取られる? 首相発言が波紋

2017/8/6

国人はどこでも生き抜く道を見つける。 その向こうには、巨大なモニュメントが  
トンガ人の志望をかきこむと見られる。 立つ「ポヒヴァ」が目撃。 中国が全

トンガに ODA 事業で行く機会がありました。何故首相はこのような発言をしたのだろうか、その背景を、トンガで私が感じ経験し、また現地の人から聞いた話をもとに楽園トンガの紹介とトンガにおける中国の影の見聞録です。

トンガ王国は旅行者にとっては楽園でしょうが、私が感じたトンガは次のような島国独特の特徴または問題を抱えています。

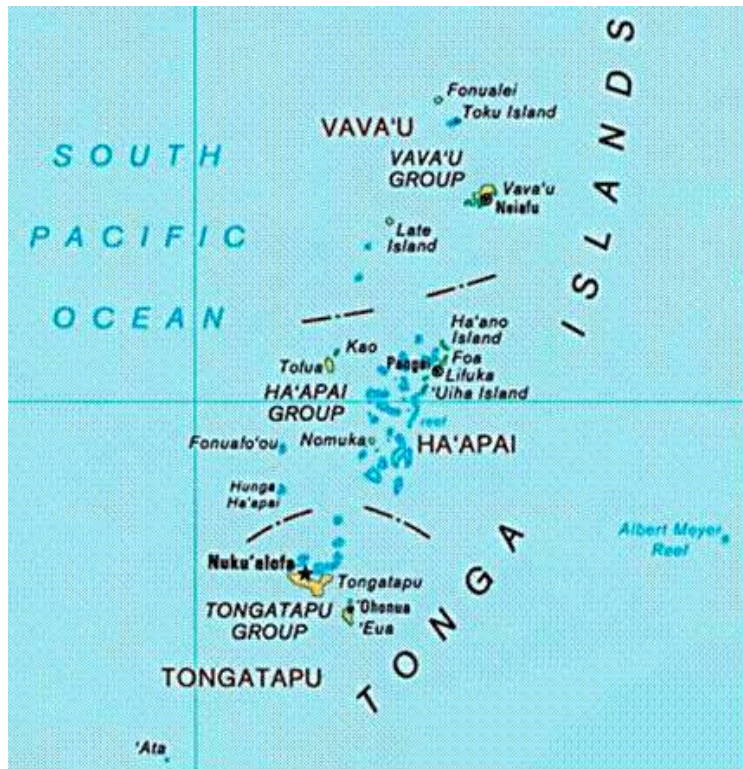
- 国土が狭く、分散していて人口が少ない。
- 大消費国または工業国と距離が離れている。
- 資源がない。
- 外国との貿易で輸出できる商品、物資がなく、輸出額は輸入額の約 9%と貿易格差が大きい。
- 産業育成が十分でないため、若者の職業がない。
- 国の経済は外国へ出稼ぎに出ている人たちからの送金と外国からの資金援助で賄われている割合が大きい。
- 中国人による資金贈与・貸与、トンガ国内での経済活動への進出です。

最初にトンガを訪問したのは 2009 年 5 月トンガ王国の首都ヌクアロファの病院プロジェクト、8 月からトンガタブ諸島の離島、ババウ諸島の離島 (Vava' U)、ハーパイ諸島の離島 (Ha' Pai) の離島プロジェクト、2015 年トンガタブ島 (Toga' tap) の電力会社支援プロジェクトに参加しました。

最初に訪問した時から、トンガの生活に中国の影が色濃く映っているのを感じました。6 年後その進行がスピードアップしているのに驚き、また現地の人たちは国の現状に、憂いや無力感をもっているのを強く感じました。

トンガは南太平洋のサモアの南、フィジー島の東に位置し、西経 176° の東側に位置し、南緯 20° 線がハーパイ諸島を横切っています。東経 180° 線を越えているが、日付変更線を変更してトンガは東経の日付を採用しています。

最も近く関係の深いニュージーランドの北東約 1200 km に位置し南北 1000 km、東西 500 km の範囲の中で 4 つの島グループ群に分かれています。南からトンガタブ島グループ、ハーパイ島グループ、ババウ島グループ、ニウアス島グループです。全体で約 170 の島に分かれ、合計面積は約 720 km<sup>2</sup>、日本の対馬とほぼ同じ面積で構成されています。一島当たりの面積はトンガタブを除いて小さく、首都のあるトンガタブの面積は 260 km<sup>2</sup> で (沖縄の西表島 (289 km<sup>2</sup>) より少し小さいが全国土の 36.1% を占めています。離島は 1 島 1 村というところもあります。



出典：現地案内より

民族はポリネシア系で2006年の人口が101,144人、2019年の人口が104,494人、13年間で3350人増加しましたが、過去20数年の間10万人前後で大きな変化はありません。増加した人と約同数は海外へ出稼ぎにでています。海外のトンガ人は約11万人でほぼ国内人口と同数です。だいたい1家に1人は海外で働いていると言います。

耕地面積と食料生産量から考えて10万人以上は生活できないように国民が自然に感じているのかもしれませんが。主島トンガタブグループの人口が約70.5% (75,000人)、ババウグループが15.2%、ハーパイグループが7.5%、エウアグループが6.7%で首都のあるトンガタブ島に集中しています。



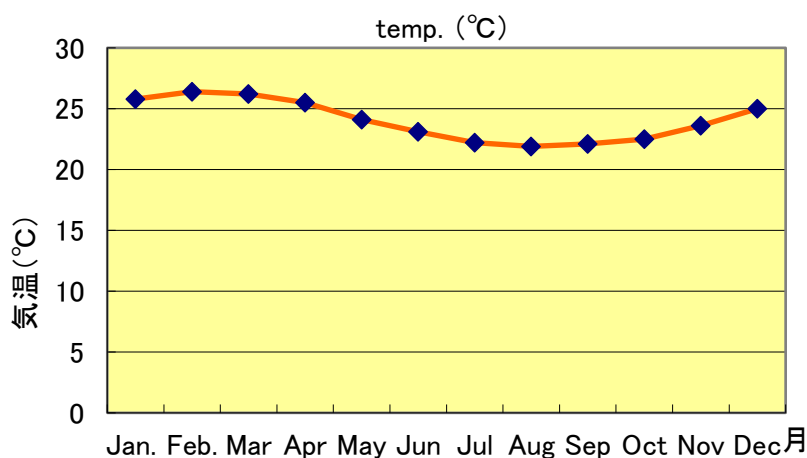
ヌクアロハのシンボル木  
王宮のそばにある  
木の左奥に王宮、後ろは海



国王の私邸 入り口

国民のほぼ100%がキリスト教徒で、おおくの会派が教会を持っています。住民は宗教心が篤く、同じ会派同志のむすびつきは強く団結しています。信者は1日5回イスラムとほぼ同じ時間にお祈りし、日曜日には教会へ行きます。運転手の話によるとイスラム教徒が1家族いたが、死別により現在は数人のみだと言っていました。トンガの日曜日は教会以外すべて休日で、旅人には少し不便です。飛行機はじめすべてがストップし移動ができません。

天気は熱帯雨林気候にあり、海洋性で気温の年較差よりも日較差が大きい。5～11月にかけて南東貿易風で涼しくなります。首都ヌクアロハは南緯 21° 9′、西経 175° 14′ にあり、1月の平均気温は 25.8℃、7月は 21.3℃、年間降水量は 1634 mm、で気温の島グループ間の差はほとんどないが降水量はババウ島が多く年間 2790 mmです。



雨はスコール型で短時間ザーと降りますが、あとは陽が差し、気持ちの良い降り方です。気候に関しては日本と同じようにサイクロンに襲われますが常夏で生活しやすい国です。

## 国の体制

体制は王と貴族がつい最近まで国を統治していた立憲王国です。日本の明治維新より数年前、1860年各諸島の統治者を初代トウポウ1世（ジョージ1世）が統一しトンガ王国を建国しました。

彼は3部132条の憲法を公布し、議会を30議席とし、内21議席は王と世襲貴族が、9議席は選挙で選ぶと決めました。平民の国政参与権と市民的自由は与えられず、2006年まで多少の変更はあったが、この体制が146年間続きました。1900年イギリスの保護領となり、1970年独立しイギリス連邦に参加しました。

2006年11月ヌクアロファでデモ行進と暴動が発生し、始めて国王の退位を国民がプラカードで表明しました。トンガの主だった施設、企業、行政施設、レストランなどが焼失しました。事件から約3年後にヌクアロファへ降り立ったが事件の影を残すものはありませんでした。事件を受けて、国王・貴族は王国の廃止と王政廃止を懸念し

て改革を発表し、2010年11月下旬のような新制度で選挙を実施しました。

- ① 議員定数26議席とする。うち17議席は平民から選ぶ、9議席は33名の貴族から選ぶ。
- ② 平民17議席はトンガタブ島10、ババウ諸島3、ハーパイ諸島2、ニウア島1、エウア島1名とした。
- ③ 首相はそれまで国王が選んだが、民主的に議会が選ぶ。
- ④ 閣僚も国王が選んだが、首相が選ぶ。
- ⑤ 国王の統治権は不変、法案の拒否権、内閣解散権を持つ

選挙の結果今までトンガの改革に尽力してきた、ポヒヴァ氏が首相になり、ポヒヴァ氏は2017年再選され2019年9月オークランドの病院で逝去するまで続けました。セミシ・シカ氏が2019年9月12日より2019年10月8日まで代行し2019年10月8日よりポヒヴァ・トウイオネトア氏が首相に選出されました。

国王：トウポウ6世（2012年就任、世襲）

立憲君主制、貴族体制（33貴族の世襲）

議会：1院制 定数26（貴族33名（世襲）より9人選出、平民17名 小選挙区制）

首相：2010年までは国王が選出したが、現在は議員が選挙で選ぶ、閣僚も国王が選んでいたが現在は首相が選任する。首相は2019年10月8日よりポヒヴァ・トウイオネトア氏が首相になった。

内政：2010年穏やかな民主化改革が行われたが、国王はいまだに大きな力を持っています。

トンガの土地法はすべての土地は王位にある人物の財産と決めています。16歳になった男子に宅地農地を合わせて9800坪与えることになっていたが、1996年有資格者の35%分の土地きり用意できなくなりました。



#### トンガの大コーモリ

2020年は世界中がコーモリのウイルスにより、まだ悩まされていますが、現在はもっとも嫌われる動物のひとつかもしれない大コーモリが町の住宅地の巨木の上に住んでいます。夕方になると果物などのえさを探しに飛びたつてゆきます。このコーモリに恐ろしいウイルスがないことを願いますが、あまり感じの良い生き物ではありません。中国では尿に触れても感染すると聞きました。

## 中国人へのパスポート販売

運転手から妙なことを聞きました、貴族が首相の時、「中国人へパスポートを販売した。」と言ったのです。運転手はばかげたことをしたと怒っていました。国が公然とパスポートを外国人へ販売したことなど聞いたことがないので驚きました。調べたところ1980年ころ王家と中国の癒着がうわさされました。詳しいことは分かりませんが、パスポートの販売事件が発生したとのことです。

パスポートの販売は1984年国庫の不足を補うため貴族中心の議会で決めていたといえます。借金をするより、中国の富裕層へ高額でパスポートを売れば容易に金が入ると貴族は考えたようです。この後中国人が入り始め、大量の偽パスポートが香港、台湾、東アジア各地で販売されたようです。

これは重大な事実です、明らかに中国の問題でなく、トンガの問題であり責任です。この事件が2006年の暴動の原因だと言われてますし、かつ議会改革の遠因のようです。

## トンガ経済の実態

トンガは独立以来、産業に発展を図ってきましたが、計画通りに産業は増えません。国民の雇用に関係する鉱工業のGDPに占める割合は10年間で0.2%増えただけで変化していません。企業の開発・失業率改善も変化していないことになります。

トンガの主要産業はコプラ、ヤシ油、カボチャ、漁業で、輸入が食料、家畜、機械、燃料、石油製品、家電などであり、2018年のGDPは4.5億USD(2018年世銀)でした。総貿易額は輸出が19.1百万米ドル、輸入が203.6百万米ドル(2018年ADB)であり、輸出額は輸入額のわずか9.4%弱で差は184.5百万米ドルもあります。

この差額は海外から出稼ぎ者が送る送金によって賄われています。2006年の送金額はUSD146mill.です。産業もない、輸出入のバランスも悪い、国家財政が海外からの送金と海外からの支援金でなりたっている国で、1人当たりのGNIがUSD4300(2018年世銀)あるのは、送金によるところが大きいようです。送金はGDPの65.5%にも達し、出稼ぎによる送金がなければ、食料品も調達できない状態です。

世銀2018年のデータによると主な貿易相手国は輸出が香港、ニュージーランド、米国、日本、輸入がニュージーランド、シンガポール、米国です。不思議なのはどちらにも中国が入っていません、街の商店はほぼすべて中国人の商店で中国製品を販売しています。

表 GDP の産業別割合

	農林水産業 %	鉱工業 %	サービス業 %
2003 年	23.2	10.9	50.5
2013 年	19.9	11.1	69.1

出典：2013 JETRO

表 輸出入比較

年度	2006 年	2018 年	備考
GDP mill. USD	223	450.0	
輸出 mill. USD	9	19.1	
輸入 mill. USD	115	203.6	
送金 mill. USD	146	294.0	
援助金 mill. USD	5		

出典：2018 WB

苦しい状況を支援するため、ニュージーランド、オーストラリアはじめ OECD 諸国が支援しています。また中国も支援を始めました。OECD 諸国の支援は生活に直結するような支援が多いのですが、中国はインフラに関する支援に力を入れているように感じています。特に大きな建物又は施設を建設する事業が目立ちます。これらの事業が有償支援のようであり、トンガのみならず開発途上国で問題になっています。トンガのケースは後程考えてみたいと思います。

### 宿の周りの花

宿の周りには熱帯の美しい花が咲いていました。ハイビスカスの一種のフーリンブッソウゲ、この島で初めて見ましたので最初は少し興奮しました。

	
<p>レッドジンジャー ロッジの前に植えられて美しい赤花を見せていました。</p>	<p>ハイビスカスの一種 (フーリンブッソウゲ)</p>



ヘイコニア・ロストラタ  
初めて見た花



火焰木 英語名はアフリカン・チューリップ・ツリーと言うらしい。  
花の形がチューリップに似ています

[次回はババウ諸島とハーパイ諸島の紹介をするつもりです。お楽しみに♪](#)

(2020年12月15日)